

甲南法務研究

No.14 2018.3

- 現行独禁法の体系に係る3つの異間 ————— 根岸 哲
- 民法の効力に関するアンソロジー（補遺） ————— 櫻田嘉章
- エネルギーシステム改革における一般消費者と独禁法等の
位置づけ ————— 土佐和生
- ドイツ法における血族間扶養の意義
—— 老親扶養を中心に ————— 冷水登紀代
- 改正刑法の性犯罪の暴行・脅迫要件の認定と被害者の
『5F反応』 ————— 田中嘉寿子
- 転換期とあるべき社会
—— 環境調和性と分配における公正を中心に ————— 高橋 靖
- 【判例評釈】精神保健指定医指定取消処分の違法性と
医業停止処分の期間経過後における訴えの利益
—— 東京地裁平成28年8月30日判決 ————— 小舟 賢